

当院の協力病院(連携医療機関)紹介 第15回

鈴木医院 院長 鈴木 尚温

スタッフ

医師1人、看護師4人、医療事務員4人

診療科目

内科・胃腸科・小児科

外来受付時間

9:00	月	火	水	木	金	土	日
12:00	○	○	○	○	○	○	△

16:00	月	火	水	木	金	土	日
18:00	○	○	△	○	○	△	△

休診日

日曜日、祝日、水曜日午後、土曜日午後



所在地

〒510-0944 四日市市笹川1丁目125
TEL 059-321-6314
FAX 059-322-5200



医師になって50年、現所在地(笹川団地)で開業して40年が経過し、今年の10月には傘寿を迎えることになるので随分遠い所まで来たような心境です。

県立総合医療センターの前身の塩浜病院(第2外科)へ入局したのは昭和36年であり、日進月歩の医療の世界にあって無事今日があるのは、すべてご指導いただいた諸先輩、友人、患者さんたちのお蔭であると、いつも感謝しております。

特筆すべきことは、病院の近くに医療センターが出来たこと、そして病診連携という開業医にとって本当に有難い制度が定着したこと。

これによって、いつでも安心して患者さんに接することが出来、日常的に助けていただいております。

最近では、「緩和ケア外来」という、地獄から一足飛びに極楽へと導いてくれる素晴らしい治療法も出来て、万々歳です。

私も高齢になり、現在も小児科を勉強している子どもに、スムーズに引き継ぎが出来ればと念じています。

写真のような素敵なスタッフに囲まれて、毎日楽しく診療しています。



医療センターニュース

編集/三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 <http://www.mie-gmc.jp/>

〒510-8561 四日市市大字日永5450-132 TEL(059)345-2321(代表) E-mail:sogohos@mie-gmc.jp



災害机上訓練の様子

当院は、三重県の基幹災害拠点病院であり、大規模地震などの災害発生時には、被災患者の受け入れや広域搬送、医療救護班の派遣など、県内の災害医療の中心として活動する役割を担っています。

こうした活動に備えて、毎年、訓練を実施しています。写真は、7月24日に実施した災害机上訓練の様子です。

災害発生後、時間の経過に伴って次々に与えられる情報の中から、その緊急度や優先度を判断して、人員や空き病床、医療器材等の限られた資源を、いかに効率的・効果的に活用するかを考え、訓練終了後に課題の確認を行いました。

11月7日(土)には、住民のみなさんにも参加いただく防災訓練を実施します。

もくじ

- 災害机上訓練の様子……………1
- 今年度、新たに10名の初期臨床研究医を採用しました……………2
- 胃がん検診をはじめました……………2
- 二次健康診断について……………3
- 「北勢緩和ケアネットワーク市民公開講座」を開催しました……………3
- 当院の協力病院(連携医療機関)紹介 鈴木医院……………4



地域医療機関の先生方へ 救急外来への患者さんの紹介についてのお願い

救急外来へご紹介いただく患者さんの状態は、一刻を争うことが多々あります。

正確な情報が必要となりますので、地域連携課を通さず、**代表電話(059-345-2321)**を通して、救急外来担当医師と直接お話しください。よろしくお願いいたします。

今年度、新たに10名の初期臨床研修医を採用しました

今年度、新たに10名の初期研修医を採用し、4月から様々な診療科で研修しています。

特に、今年度は、厚生労働省から当院に与えられた定員数である10名を採用できました。

これも、当院がシミュレーターの活用などの研修環境の整備や、診療能力の向上、診療技術の習得に関する指導・研修体制の整備など、研修プログラムの充実に努めてきた結果であると考えています。

今後も、医療従事者にとって魅力ある病院となるよう研修環境の充実を図り、積極的に研修医を受け入れるとともに、優れた医師の育成に努めていきます。



胃がん検診をはじめました

内視鏡センターにおいて、胃がん検診をはじめました。

今年4月に、国立がん研究センターは、胃がん検診ガイドラインの更新版を公表し、初めて内視鏡による検査を推奨しました。内視鏡検査では、粘膜の細かな変化も発見することができ、凹凸の少ない病変や出血なども確認することができますので、ぜひご利用ください。

予約の方法等は下記のとおりです。

(1) 電話予約 TEL:059-345-2321 (「胃がん検診の予約」とお伝えください)
受付時間:10時～16時

(2) 問診票等の記入 予約後、必要書類が郵送されますので、記入のうえ当日ご持参ください。

※詳細は当院ホームページでご確認のうえ、電話でお問い合わせください。
(http://www.mie-gmc.jp/contents/news_det.php?no=20150701132412)

二次健康診断について

当院では、一次健康診断結果に基づいて、精密検査が必要となった方の二次健康診断を実施しています。

脳血管・心臓疾患等は、その危険因子となる基礎疾患を放置することで発症するケースが多いと考えられています。

当院での二次健診において、基礎疾患を発見し、適切な治療を早期に行うとともに、保健指導により発症の予防を図ることが可能です。

精密検査が必要となった場合は、ぜひ当院へご相談ください。



「北勢緩和ケアネットワーク市民公開講座」を開催しました



去る6月6日(土)に、四日市文化会館第2ホールにおいて、三重聖十字病院さんとの共催で、「北勢緩和ケアネットワーク市民公開講座」を開催しました。

北勢緩和ケアネットワークとは、北勢地域にある16の医療機関が連携して、より良い緩和医療の提供に取り組んでいく組織で、昨年4月から当院が事務局を担っています。

今回は、日本にホスピスという考え方を広めた、淀川キリスト教病院理事長の柏木哲夫さんを講師にお招きし、「死にざまこそ人生『ありがとう』と言って逝くための10のヒント」と題した講演会を開催し、330名を超える方々にご参加いただきました。

当日は、講演会に先立って、桑名弦楽合奏団の皆さんによる生演奏も行われ、落ち着いた雰囲気の中、豊富な経験に裏打ちされたお話しを、ユーモアを交えてわかりやすくご講演いただきました。

参加者アンケートでは、「ユーモアを交えた内容で、とてもわかりやすかった。」「心に響いた。」「良い死を迎えるために、良い生き方をしようと思った。」「改めて人生、死、看取りなどを考えさせられた。」など、大変ご好評でした。



※アンケート結果など詳しくは、北勢緩和ケアネットワークのホームページをご覧ください。
(<http://www.mie-hokusei-kanwa.com/index.php>)

なお、当ネットワークでは、来年2月に、桑名市さんと共催で「写真家 國森康弘 トークライブ」の開催を予定しています。

『いのちつぐ みどりびと』の作者である國森さんのお話から、命と在宅医療と地域のつながりについて考えます。

詳細は、追ってお知らせしますので、ぜひご参加ください。



県立総合医療センターの基本理念・基本方針

基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。